

# 長谷川メンタルヘルス研究所 感情調節困難支援者研修（2022年版）

2022年度の各研修・ワークショップは、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインにて実施いたします。

## ■ 「臨床実践」コース

感情調節困難な方の理解と臨床的支援のスキル向上を図ります。弁証法的行動療法（DBT）、スキーマ療法やトラウマ・インフォームド・アプローチ（TIA）などの先端的知見を参考に支援法を学びます。

### 【講師】

遊佐安一郎・内田江里

宮城整・山崎さおり・松野航大・片山皓絵

### 【日程】

2022年4月10日（日）

感情調節困難の理解と弁証法的行動療法、ヘルピングスキル

2022年5月15日（日）

承認、ヘルピングスキルを活用しての実習

2022年6月12日（日）

DBTスキル訓練・行動連鎖分析などの変化の手続き

2022年7月10日（日）

スキーマ療法とスキーマモード・ワーク

2022年8月21日（日）

家族支援:家族心理教育、家族のためのパワーツールなど

2022年9月11日（日）

トラウマ・インフォームド・アプローチ、症例検討

※ 各日 11:00～18:00

### 【参加費用】

1回 17,600円 3回先払い 49,500円

6回先払い 92,400円（税込）

### 【申込締切】

2022年3月14日（月）

## ■ 「感情調節スキル訓練」コース

境界性パーソナリティ障害などで感情調節が困難な方のために、「弁証法的行動療法（DBT）」を活用したスキルトレーニングプログラムについて具体的な支援法を学びます。

### 【講師】

宮城整・山崎さおり・井合真海子

松野航大・片山皓絵・遊佐安一郎

### 【日程】

2022年11月20日（日） 感情調節困難およびDBTの概要

2022年12月18日（日） DBTを活用したスキル訓練  
マインドフルネススキル

2023年1月15日（日） DBTを活用したスキル訓練  
対人関係スキル

2023年2月19日（日） DBTを活用したスキル訓練  
感情調節スキル

2023年3月19日（日） DBTを活用したスキル訓練  
苦痛耐性スキル

※ 各日 10:00～17:00

### 【参加費用】

1回 16,500円 5回先払い 77,000円（税込）

### 【申込締切】

2022年11月15日（火）

## ■ トラウマ・インフォームド・アプローチの考え方と感情調節困難へ応用

トラウマ・インフォームド・アプローチ（TIA）の考え方について学び、トラウマを持つ人の症状や状態像として、耐性領域や脳科学についても学びます。そして、感情調節困難への治療法として効果が立証されている弁証法的行動療法（DBT）を例に、TIAの考え方を現場でどのように活用するかについても考えていきます。

### 【講師】

遊佐安一郎・宮城整・山崎さおり・片山皓絵

### 【日程】

2022年10月22日（土）

トラウマ・インフォームド・アプローチと耐性領域、トラウマと脳

2022年10月23日（日）

感情調節困難と弁証法的行動療法、承認

※ 各日 10:00～17:00

### 【参加費用】

27,500円（税込）

### 【申込締切】

2022年10月17日（月）

感情調節困難でお困りの方のためのグループ・セラピー（スキルアップグループ）および感情調節困難の方を抱えるご家族のためのグループ（家族スキルアップグループ）、楽器奏者向けのサービス（音楽家のジストニアネットワーク）も実施しております。詳しくは当研究所のホームページをご覧ください。

### 【各講座の参加資格】

- 感情調節困難のケースの支援に関わっている方、  
(境界性パーソナリティ障害、双極性障害、摂食障害、  
発達障害、依存症、引きこもりなど)
- 守秘義務を守る方
- 原則として全回参加可能な方(ご都合がつかない方は申込時にご相談ください)
- ケースをまだ持っていない方は申込の際に、そのことを明記して、ご相談ください。

### 【申込方法】

- 長谷川メンタルヘルス研究所 HP からのお申込  
<http://www.positive-mh.org>
- メールでのお申込  
メールアドレス [erd@positive-mh.org](mailto:erd@positive-mh.org)

### 【会場】

長谷川メンタルヘルス研究所  
東京都渋谷区代官山 17-1  
代官山アドレス・ザ・タワー3階  
Tel : 03-5459-2188



### 【感情調節困難について】

境界性パーソナリティ障害等、摂食障害、発達障害、物質依存、双極性障害などの精神科の診断名を受けている方や、引きこもり等の生きにくさを経験している方々に共通した問題に感情調節困難があります。「感情調節困難」は診断名ではなく、そのような辛い状態を示す一つの「呼称」です。

境界性パーソナリティ障害、摂食障害、発達障害などの効果的な治療法として科学的エビデンスが豊富な弁証法的行動療法 (DBT) では、感情調節困難の改善を主軸に治療プログラムを構築しています。

欧米では、DBT はこのような感情調節困難のための治療法として広く活用されていますが、包括的な治療で高度な訓練とマンパワーも必要なこの方法を、日本でそのまま実践することは困難であることが現状です。

最近の脳科学の発展から、トラウマが感情調節困難に与える大きな影響の理解と支援法も発展してきています。

日本でも活用できるような支援のあり方に関して、その考え方と実際の支援の方法、日本の臨床的風土で活用する工夫を参加者と一緒に考え、練習していきたいと思っています。

## 2022 年度

## 感情調節困難支援者研修

境界性パーソナリティ障害、  
摂食障害、発達障害など  
感情調節が困難な方の理解と支援

## 長谷川メンタルヘルス研究所

